ASA welding rod,有限会社ティークラフト,R14-XX-YY-ZZ

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: ASA プラスチック溶接ロッド（ASA welding rod）
- 製品番号: R14-XX-YY-ZZ 他
- 推奨用途: 自動車ボディショップ等における ASA 樹脂部品の溶接修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に発生するフュームや蒸気が上気道を刺激するおそれあり。溶融物は重度の熱傷を引き起こす）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は刺激性の煙やガス（一酸化炭素、シアン化水素等）が発生します。溶融した材料が皮膚に付着すると重度の熱傷を引き起こします。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。ガス、蒸気、煙を吸い込まないこと。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 成分情報:
  - アクリルスチレンアクリロニトリル（ASA 共重合体）: 含有量 ＞ 90%、CAS 番号: 26299-47-8

- 酸化チタン（TiO2）：含有量 3% ～ 7%、CAS 番号: 13463-67-7

4. 応急処置

- 目に入った場合: 直ちに 15 分以上多量の水で洗い流すこと。溶融材料と接触した場合は、直ちに医師の診察を受けること。非溶融材料と接触した場合で刺激が続くときは、医師に相談すること。コンタクトレンズを着用している場合は取り外すこと。
- 皮膚に付着した場合: 常温の化合物では有害ではないが、使用後は皮膚を洗浄すること。溶融物が皮膚に付着した場合は、冷たい水で急冷すること。皮膚から物質を無理に剥そうとせず、熱傷の治療を受けること（治癒に伴い自然に剥がれるため、無理に直ちに除去する必要はない）。
- 吸入した場合: 通常のプラスチック溶接では危険になる可能性は低い。過熱または燃焼によるガス、蒸気、煙にさらされた場合は、新鮮な空気のある場所に移動させること。呼吸していない場合は人工呼吸を行い、呼吸が困難な場合は酸素を補給し、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 製品の通常の使用中における予想される暴露経路ではない。万が一飲み込んだ場合は、医師に相談すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水霧、泡、二酸化炭素、およびドライケミカル（※ただし二酸化炭素や粉末は冷却能力がないため再発火に注意）。
- 消火手順: 人員を退避させ、火上風上に保つこと。自給式呼吸器（SCBA）および完全な保護具を着用すること。
- 危険な燃焼生成物: 激しい熱、煙、二酸化炭素、一酸化炭素、炭化水素の断片、シアン化水素。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 廃棄物処理評価を行うまでは、密閉容器に集めて保管すること。廃棄する前に溶融材料を固化させること。下水道や水路へ流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: プラスチック溶接中に発生する可能性のあるガス、蒸気、煙を吸い込まないこと。熱い／溶融した材料を扱う場合は、注意と適切な個人用保護具（PPE）を

使用すること。溶融材料との保護されていない接触は火傷を引き起こすため避けること。

- 保管: 涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。火気や熱源を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
- 設備対策: プラスチック溶接からのガス、蒸気、および煙を管理するために局所換気装置（排気ファン等）を使用すること。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 局所的な機械的換気が煙霧を減らすのに不十分な場合は、有機蒸気、酸性ガス、および粒子状物質からの保護用に承認された呼吸用保護具（国家検定合格品等）を使用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は十分に断熱された手袋を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 溶融材料を取り扱うときは、顔面シールド（および安全眼鏡）を着用すること。
    - その他の保護具: 溶融した材料が皮膚に付着するのを防ぐために、長ズボン、長袖を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 白い樹脂製ロッド（ホワイトレジンロッド・固体）
- 色: 白
- におい: わずかな、または無臭
- pH: 適用できない
- 融点: 鋭い融点を示さず、広範囲の温度にわたって徐々に軟化する
- 比重: > 1
- 溶解度: 水に不溶（無視できる）

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 通常の状態では安定。
- 避けるべき条件: 過度の熱。
- 混触危険物質: 混触危険物質または強酸化剤と反応することがある。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。

- 危険な分解生成物: 燃焼生成物には二酸化炭素と一酸化炭素が含まれる。熱分解生成物はアセトアルデヒド、エチレン、シアン化水素等を含み得る。

11. 有害性情報

- 毒性情報:
  - 経口摂取毒性: 経口 LD50（ラット）＞5 g/kg（類似物質の試験から推定）
  - 眼および皮膚の刺激性: 一次眼刺激性や主な皮膚刺激性とはみなされていない。ただし、高温時の溶融物は重度の皮膚熱傷を引き起こす。加熱時のフュームは呼吸器を刺激する場合がある。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: 毒性データはないが、生成物は水に不溶であるため水生生物への影響は低いと予想される。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: リサイクルすることを推奨する。国、県、および地方の要件（日本の廃棄物処理法等）に従って、埋め立てまたは焼却処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（規制されていません ／ IMDG・IATA ともに規制されていないクラス）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。（※微量含まれる酸化チタン等についても高分子マトリックス中に固定されているため、通常の固形状使用では対象外となります）
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS
    - GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
    - JIS Z 7253 : 2019
    - JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。